

解 答

●品物は人に分けるとなくなってしまうが、思想はなくならず、みなのが共有財産になる。

●品物はどんな人にも同じモノだが、思想は受け取られ方によって人それぞれ違うことがある。

自分の考え方によって広く人々に伝え、人それぞれの受け止め方をしてもらうことによってみんなの共の財産にしていくこと。

- 1 身辺 2 健全 3 出版

問一

活発で物おじせず、強情だが、好奇心が強く、感受性や想像力が豊かな性格。
昔かわいがっていたきみじょっちゃんに似て、活発で強情なわたしがかわいくてたまらず、元気に育つてほと願っている。

問二

活発で物おじせず、強情だが、好奇心が強く、感受性や想像力が豊かな性格。
昔かわいがっていたきみじょっちゃんに似て、活発で強情なわたしがかわいくてたまらず、元気に育つてほと願っている。

問三

①娘のきみが元気に生きていたころをなつかしく思う気持ち。

②きみを十歳で死なせてしまったつらさを思い出したくない気持ち。

①きみじょっちゃんに似ていると聞かされていて、早く死ぬ運命まで似るのではないかと不安になっていたが、祖母に似ていないから大丈夫とあっけらかんと言われ、ほっとした。

解説

問一

一点目の違いは、「品物のときには、人に分けてしまえば手もとには何も残りません。しかし、思想は・・・分けられて」「なくなってしまうこと」はありません。むしろ、大きく広がって「みんなの共有財産」になつて行くのです」と述べられています。

二点目の違いは、思想という財産の分配を受ける側のひとりひとりはちがうから・・思想や考え方や思いを最初に「分けようとした人」の望みどおりには「聞いてもらはず」「読み取つてももらえない」ことが充分あります。

直前に「思想は分けられる（分配される）ものであり」「だいじなことが、ことばによつて、聞いたり読んだりする人々みなの中にされて行く」「読み取つてももらえない」ことによつて共同の財産が生まれ出る」と述べられています。要約してまとめましょう。

問二

ASEそれぞれについて、そのような行動をとる子どもの性格を考え、答えましょう。
虎おじじが「きみじょっちゃんに似とらすなあ」と発言するのは、虎おじじがわたしをきみじょっちゃんに重ね合わせ、いとおしく思つてゐる場面です。強情なところがかわいくてたまらない上、「魔モン」から守ろう、元気に育つてほしいという思いが読み取れます。

①祖母の「遠いところに笑いかけるような」表情から、亡くなつたきみを思いだしていいると考えることができます。

②祖母の「妙に冷淡な口ぶり」から、娘のきみを十歳で亡くしたつらさを思い出したくないという気持ちが読み取れます。

きみじょっちゃんが十歳の時、死に病で亡くなつたことを祖母から聞かされ、わたしは「ぎくりと」したり、「おぞましい気持ちにおそれれ」たり、「絹の真紅が、急に血のようにどす黒く見えて、わたしは思わず目をそらし」たりして、います。これらの描写から、きみのよう自分も死ぬではないかと不安になつてゐる様子がわかります。しかし、祖母から「似とらん」と笑われ、「おまえみたいなのは長生きだけん、心配さんでもえ」と言われ、ほつとしたあります。この部分をまとめましょう。

問四

問一

問二

問三

問四